

## 第5次丸亀市生涯学習推進計画（案）に関する意見と市の考え方

### 1. パブリック・コメントの概要

意見提出期間 令和8年1月5日（月）～2月3日（火）  
 意見提出者 2名  
 意見提出件数 2件

### 2. 意見の概要と市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>【10 ページあたり】【32 ページあたり】</p> <p>丸亀市では地域コーディネーターが増えず、年代も高齢層に偏っています。高校生・大学生・20～30代など若い世代が地域に関わる仕組みづくりが十分に進んでいないことが課題です。コミュニティスクールや学校運営協議会も高齢化し、議論が保護者に届きにくい状況があります。</p> <p>また、コミュニティ活動では「時間に余裕のある高齢者が最低限の範囲で参加する」という形になりがちで、主体的な活動が生まれにくくなっています。防災士資格についても、現地での実践につなげる支援が弱く、資格取得と実際の活動に隔たりがあるため、意欲のある人が実践できる環境を整備していく必要があります。</p> <p>地域活動が「任意参加」と認識される一方、参加者には「仕方なく関わっている」という意識が残り、積極的な意見や活動が生まれにくいことも課題です。</p> <p>地域を持続させるためには、コミュニティに関わる人々の意識改革と、特に10～30代（～40代）の意見を反映できる仕組みづくりが必要です。強制的な「強働」から、主体的に関われる「共働」への転換のため、若い世代が参加しやすい環境整備が重要です。</p> <p>その一つとして、中学校や高校で地域コーディネーターや行政職員が講話を行うなど、若い世代が地域に関心を持ち活躍できる機会をつくることが求められます。出生数が減少する中、若い力を育てることが今後の地域活性化につながります。</p>	<p>本市では、人口減少や少子高齢化を踏まえ、若い世代を含む多様な人材が地域活動に参画できる環境づくりを重要視しています。地域コーディネーターなどの担い手がより多様な世代で構成されることが望ましいとの観点から、人材育成や参画機会の創出、関係機関との連携を計画（案）の基本方針としています。</p> <p>また、「子どもが主体的に地域社会に関わる機会の提供」を本計画の重要な施策と位置付けており、ご意見にある、中学生・高校生と地域人材との交流や、学校現場で地域活動を伝える取組は、若い世代の関心を高めるうえで有効であると考えています。今後、学校や地域と連携し、こうした機会の充実を図っていきます。</p> <p>さらに、防災士をはじめとした資格についても、取得にとどめず、市で行う研修や地域活動への参加を促す等、実践につながる仕組みづくりに努めてまいります。</p> <p>今後は、多様な世代が主体的に関われる地域活動となるよう、世代間の対話の促進や参画しやすい環境づくりを進めるとともに、意欲のある方が学びを深め、その学びを地域で実践できる機会をさらに広げ、多様な人材が活躍できる環境を整えることで、本計画の理念の実現を目指して取組を推進していきます。</p>
2	<p>“ウェルビーイングの考え”が基本になった推進計画はとても大切であると思えます。また、地域の読書推進を重点においた取り組みを以前から行っているのも嬉しい限りです。（子どもたちの読書力をあげるために必要）</p> <p>期待することとして</p> <p>①子どもたち（小・中・高校生）の声が市に届く仕組みづくりをしていただきたいこと。（例）定期的に「市長さんとの懇談会」、「〇〇課長さんとの懇談会」、「紙面で子どもの考えを伝える」等</p> <p>②市内で小・中学校の先進的な取り組みを行う指定校を設置して、継続研究をしていただく。（例）3年間の指定→中間発表→4年目に最終発表会（参加者 学校、市、地域、他の市の関係者）</p> <p>③地域コーディネーターの方々への質の高い、意欲が持てる研修会を行っていただきたい。</p> <p>市の方でも魅力的な行事、イベントをさらに開催していただき、参加してよかった、地域貢献に少しでもつながったという充実感が持てることが大事になってくると思われれます。</p> <p>東小川児童センターとしても市の関係課に協力をしていただきながら、将来ある子どもたちの育成にしっかりとかわらせていただきたいと考えています。</p>	<p>本計画（案）では、ウェルビーイングの実現を基本に、子どもから大人まで多様な世代が学び、地域とつながる環境づくりを目指しています。ご意見で示された視点はいずれも重要であり、次のとおり取り組んでまいります。</p> <p>子どもたちの意見表明については、本計画（案）で掲げる「多様な主体との対話」や「子どもが主体的に地域に関わる機会の提供」を踏まえ、対話を通じて子どもの意見が市政に反映される場の充実に努めます。</p> <p>学校と地域が連携した継続的な研究・発表の仕組みについては、学びの質の向上や地域への波及に有効と考えており、関係部署や学校と連携しながら実施方法を検討します。</p> <p>また、地域を支える人材育成は本計画（案）の重点であり、特に地域コーディネーターの育成については、地域の実情を踏まえ、実践的で意欲向上につながる研修の充実と、学びが地域に活かされる体制づくりを進めます。</p> <p>今後も、東小川児童センターの皆様をはじめ、さまざまな主体と連携し、地域全体で子どもたちの育成を支えられるよう、魅力ある事業の実施に努めてまいります。</p>